

至つては言詰同断である、ロシア、米國、英國の有様を見て深く日本の立場を認識せよ、世界の平和は大和民族の使命である、吾々の運動を阻止するものは特權階級資本家、政黨である、皇道の御親政を仰いで明瞭なる日本帝國を建設せねばならぬ。

○ 非常時の決意 常任理事 住田 徳一

昭和維新は軍人、國民、警察官が一緒になつてこそ合法的に出来るのだ、吾々の生産黨は何事か企むものの様に思はれてゐる、大命こそ降らないが天下の爲、君の爲に起上つた合法的正義運動である、現在の代議士は詐欺、強盜を平氣でやる者なり、偉い人は代議士にはならない、總理大臣は利權屋の親玉であり、政治家と言ふのは詐欺をする時の別名だと考へれば腹は立たぬ。食へない者を何ともせず、

自らは悪事を働く處に悪思想が生れたのだ、一五事件血盟團事件は天の命づる處に國家の爲に働いたのである、日本の改革には非合法と合法とがある、支配特權階級の政治家共を如何にして合法的に倒すべきか、軍人、官吏、國民が手を握りて起てば容易である、軍人と國民は起上つてゐる、只警察官のみが残されてゐる、從來政黨の警官も自ら天皇の警察官と言ふ氣持になつて來た、一刻も早く吾々手を握れ、少數を倒して大多數を救ふ精神を以て國家の爲身命を賭する兵士と同様の氣持を持って、外敵は兵士にまかせて内に對して勢力せよ、何時何處で烽火が上がるか知らぬが、機關の諸君に固く手を握るべき決意を促がすものである

○ 皇道外交の樹立 關西本部書記長 柴山 滿